

＜校務利用＞ ① 児童生徒の指導に関わる業務の支援：生成AIを活用した指導案検討の提案（生成AI体験会）

教員を対象とした生成AI体験会において、NotebookLMを活用し、指導案検討のための壁打ち提案を行った。NotebookLMに学習指導要領解説と初任者が作成したと想定した学習指導案を取り込み、指導案の内容を検討した。

成果と課題

【成果】時間のかかる指導案検討を、時間や場所を問わず、一人でも精度を確保しながら進められることを体験会参加者に実感してもらえた。

【課題】取り込むソースが不十分だと、実践例の具体性が欠けることが課題としてあがった。

生成AI体験会【校務ブースでの事例】

《理科の学習指導案を検討する》  
体験会では、以下の例から選択し、体験してもらった。

【プロンプト】

例1：学習指導要領を踏まえて、第2学年理科学習指導案(サンプル)は、本単元及び本時で身につけさせたい資質・能力を育成する手立てを具体的に記述されているか？

例2：単元の評価基準が的確に示されているか？

例3：ねらいに迫るための手立てや工夫した発問や指導方法、学習形態等が具体的に示されているか？

例4：理科の見方・考え方を育成するための本時の工夫として、どのようなことが考えられるか？

チャット 更新 ← NotebookLMとのやり取り

学習指導要領を踏まえて、第2学年理科学習指導案(サンプル)は、本単元及び本時で身につけさせたい資質・能力を育成する手立てを具体的に記述されているか？

学習指導要領を踏まえて、第2学年理科学習指導案(サンプル)は、本単元及び本時で身につけさせたい資質・能力を育成する手立てを具体的に記述されているとは言えません。

読み込ませたソースについてchat形式で質問をする。

質問に対する回答が提示される。番号をクリックするとソース(指導案)にとぶ。

生成AIから助言の根拠となっているソース(学習指導要領解説)の元データにとぶ。

しかし、①の指導案は、具体的な手立てについては記述されていません。②から③の学習指導要領では、生徒が観察、実験に主体的に取り組めるようにして、科学的な概念の形成を図ることの重要性について述べています。例えば、④では、観察、実験、野外観察を重視するとともに、地域の環境や学校の実態を生かし、自然の事物・現象についての基本的な概念の形成及び科学的に探究する力と態度の育成が段階的に無理なく行えるようにするべきだと述べています。⑤では、情報通信ネットワークなどを活用し、観察や実験の代替としてではなく、自然を調べる活動を支援する有用な道具として位置付けるべきだと述べています。

①の指導案では、これらの学習指導要領で示された、生徒の主体的な学習を促すための具体的な手立てや、情報通信ネットワークなどを活用した学習活動について記述されていません。

学習指導要領では、思考力、判断力、表現力等を育成するために、生徒自身が問題を見だし、自ら進んで探究する活動を行い、分析して解釈することの重要性を強調しています。⑥では、「見通しをもって」ということを強調し、従前の「目的意識をもって」に比べ、より幅広く様々な場面で活用することを想定した表現だと述べています。⑦では、生徒自身が問題を見だし、自ら進んで探究する活動を行い、分析して解釈することを通して、規則性を見いだしたり、課題を解決したりするように方向付けることが大切だと述べています。

しかし、①の指導案では、生徒がどのように問題を見だし、探究活動を進めていくかについての具体的な記述がありません。